

# 中宮中だより

No. 1 2

平成28年(2016年)12月22日  
枚方市立中宮中学校  
校長 鶴島 茂樹

## < 2学期をふりかえる >

(文化祭)



(ECフェスティバル)



(応急手当講習)



(中宮フェスティバル)



(職場体験)



(保育体験)



この他、1年生は職業講話等がありました。また2年4組は北河内地区中学校連合音楽会に出演しました。そして、生徒会が3年生から2年生へとバトンタッチされました。こうしてみると、本当に中身の濃い充実した2学期だったと思います。

### ○1、2年生のみなさんへ

2学期の行事や取り組みをあらためて振り返ってみると、ほとんどが2年生主体の取り組みでした。いよいよ学校づくりの主役が3年生から2年生へとバトンタッチされつつあるということです。

また1年生はあと3ヶ月で「先輩」となります。みなさんもそうだったように、新しい1年生は先輩の背中を見て成長していきます。

2年生も1年生も、これまで3年生が創り上げてきたこの中宮中学校を引き継ぎ、さらにすばらしい学校にしていく責任を負うことになります。

各クラス、各学年で2学期の反省をしっかりとしたいと思います。数々の失敗もあったことでしょう。でも失敗することは誰にでもあるし、そもそも学校は失敗することから学び、1歩ずつ成長していくための場所なのです。

失敗をいつまでも悔やむ必要はありません。大切なことは、同じ失敗を繰り返さないということです。みなさんの今後のさらなる成長を大いに期待しています。

### ○3年生のみなさんへ

さて、いよいよ自分の進路を決定しなければならない時期がやってきました。おそらく、みなさんの多くは、自分の希望する高校に受かるか受からないかということが一番気になっていることでしょう。もちろん、現実としてそのことは大切なことには違いありませんし、懇談の話題もそれが中心になっただろうと思います。

しかし、言うまでもなく「進路」は「行き先」だけの問題ではありません。もっと言うなら、「進路」＝「高校や専門学校への進学」ではありません。例えば自分の意志で「就職」を選ぶことだって一つの進路選択です。

大切なのは、そこへ行って自分は何をするのか、どんな生活をするのか、そしてそれをその先の将来へとどうつなげるのかということなのです。

高校の評判やランクや偏差値などは、自分の「生き方」には本来関係ないのです。そんなもので自分の価値や将来は決まりません。それを決めるのは自分自身の意志と努力なのです。そこへ行って自分がどう生活し、どう生きるのか・・・

冬休み、自分の中学校卒業後の姿を頭に描き、そして今やるべきことに全力で取り組んでください。しんどいかもしれません。でも大丈夫。クラスや学年の仲間もみんな同じ立場です。きっと支え合えるはずですから。

### ○みんなへ

いろいろ書きましたが、何より大切なものは、一人ひとりの「命」です。みんなの元気が一番です。休み中、交通事故に気を付け、健康に留意して、3学期、また元気にスタートしましょう！！

